評価結果報告書
「スーパーバイオイメージャーの開発」

総合評価

本研究開発提案は、世界初の電子人工皮膚（E-skin）、皮膚接触型 E-skin、光学式 E-skin を基盤技術とし、これら技術の革新をはかり、皮膚に接触して様々な生体情報を光学式で計測する伸縮性イメージセンサー（スーパーバイオイメージャー）の実現を目標に研究開発を進めるものである。

CREST、ERATO を通じ得られたこれらの技術は、基本技術の国内外での特許取得も進められており、ACCEL 研究開発に着手する基盤が整備されている。また、社会実装に向けた研究開発体制の構築も適切であり、産業化に繋げていくビジョンが明確であると評価できる。

本研究開発で目指す伸縮性イメージセンサーは、光学式、多点、伸縮性を同時に備えており、様々な生体情報を非侵襲でいつでも誰もが簡単に連続計測でき、正確に生体情報をモニタリングできるセンサーであり、これの小型化、高精度化等をはかり、多種多様な情報センシングを可能とすることにより、人々のセルフケアへの取り組みが格段に進むことが期待される。さらに、ヘルスケア・医療・介護等との連携もはかることにより、超高齢化社会に向けた対策、医療費・介護費の抑制等につながり、人々の健康に資する安全・安心社会の実現に貢献する。